

日本気象学会1992年度春季大会シンポジウム「新しい観測システム」 及び「つくばの観測システム」見学会のお知らせ

つくば大会実行委員会

表記シンポジウム並びに関連見学会の日程・プログラム概要が以下のように決まりましたのでお知らせいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

シンポジウム

日 時：大会第1日（5月26日，火曜日）午後
（これまでの大会と日程が異なりますのでご注意ください）

会 場：工業技術院筑波研究センター共用講堂 大講堂
座 長：田中豊顕（気象研究所気象衛星・観測システム研究部長）

プログラム概要：

1) 水分計

1. 電磁波式土壌水分計による土壌水分量変化の測定
安原正也（地質調査所）
2. マイクロ波散乱計による積雪水量・表層土壌水分量測定
深見和彦（土木研）

2) レーダー

3. Lバンドレーダーによる境界層観測
深尾昌一郎（京大超高層）
4. ドップラーレーダーによるメソスケール擾乱の把握
大野久雄（気象研）

3) ライダー

5. ライダーによる大気観測

内野 修（気象研）

4) ゾンデ，航空機

6. テレビゾンデ，ビデオ顕微鏡，PMS プロープによる降水粒子，雲粒子の観測

村上正隆（気象研）

5) 衛星計画

7. TRMM（熱帯降雨観測計画）について

新田 勲（気大）

8. ADEOS

- a. IMG センサーについて

小川利紘（東大理）

- b. ILAS/RIS 観測プロジェクトの概要

笹野泰弘（国立環境研）

6) 総合討論

関連見学会について

このシンポジウムに関連して大会終了翌日の5月29日（金）午前に「つくばの観測システム」見学会（気象研究所，高層气象台，国立環境研，地質調査所）を開催します。詳細は大会会場内に掲示いたします。こちらにも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先：高藪 出（気象研究所応用気象研究部，
電話 0298-51-7111（内324））

日本気象学会春季大会（つくば）への参加費の払込み方法について

（名古屋大会と異なりますのでご注意ください）

本大会の参加費・懇親会費の払込みは、前払いによる参加申し込みか、当日受付払いによります。前払いによる参加申し込みは、12月号折り込みの郵便振替の様式で、4月30日までをお願いします。詳細は12月号をごらん下さい。

大会準備の都合上、前払いによる参加申し込みをおすすめします。当日受付より割安になります。

- 1) 参加費（会員は前払い 2,000円，当日 2,500円）

- 2) 懇親会費（前払い 3,500円，当日 4,000円）

- 3) つくば市内のホテルに宿泊を予約された方には、前払いによる参加申し込みの際に1泊につき500円、3泊分まで差し引きます。当日は扱いません。

- 4) 止むをえず参加できなくなった場合は、送金料470円を差し引き返金いたします（5月15日までに大会事務局（丸山・小泉）までお知らせ下さい）。